記事掲載

取材ご協力御礼

モビリティショー

大阪でも盛況開催

二輪車も展示し話題に

ホンダブース。㊨参考出品の小型電動二輪㊧電動二輪のアクセル体験も

スズキブース。㊨e－チョイノリ㊧市販モデルも展示された

昨年4年ぶりに開かれた「大阪モビリティショー2023／第12回大阪モーターショー」（主催＝大阪モーターショー実行委員会）は、先の東京でのジャパンモビリティショー（主催＝日本自動車工業会／会期＝23年10月26日から11月5日までの11日間／会場＝東京ビッグサイト）と同じく、大勢のモーターファンが会場に訪れ、二輪・四輪やモビリティ関連の様々なコンテンツを楽しんだ。

◇

2019年の前回開催から、コロナ禍の影響による21年回中止を経て、23年開催を大阪モビリティショーの新名称も加えて再開。大阪市住之江区のインテックス大阪全館を会場に、23年12月8日から11日までの4日間開かれ、会期4日間の動員は計25万6667人にのぼった。各日動員数は8日（金）3万5448人▽9日（土）7万5464人▽10日（日）10万7184人（月）3万2571人。28万人の動員目標には達しなかったが、開催を待ち望んでいた来場者はもとより、出展者、業界関係者らの熱気あふれるショーへの盛り上げで、大阪開催テーマの「GO! Future クルマが進む未来」を、各コンテンツにより体現できる有意義なショーとなった。

大阪会場の開催規模は、前回出展の219者を超える231者、展示館面積は5万6056㎡で前回展を大幅に上回った。出展銘柄は前回27ブランド（国内外四輪・二輪）から増加し今回39ブランド（同）。出展車両も前回展を約40台上回る330台近くに及んだ。

このうち二輪車は13ブランドを数え、ホンダとスズキがジャパンモビリティショーで披露した四輪車や各種モビリティとともに、二輪車や関連車両を展示し注目を集めた。

ホンダは、昨年発売した電動二輪パーソナルコミューター、EM1e：のアクセル体験コーナーを多くの来場者が体感。

話題を集めた輸入車コーナー

二輪車用品展示も。㊤停止表示灯「パープルセーバー」（エーモン工業）㊦ウエアラブルレコーダー「FITT360PBα」（ミツバサンコーワ）

ポケットコンセプトによる印象的なミニマムサイズの小型電動バイクも披露した。スズキはGSX－8Sをはじめ、Vストローム800、Vストローム250SXなど跨り車両を展示。コンセプトモデルでは、e－チョイノリやe－POを参考出品し話題を呼んだ。

今ショーでは多彩な海外二輪ブランドによる出展ゾーン「インポートモーターサイクルワールド」（ディーラー出展）も設置。人気モデルを通じて来場者に海外バイクの魅力を広くアピールした。出展ブランド（主な展示車）は▽アプリリア（RS660エクストリーマ）▽イタルジェット（ドラッグスター200マロッシエディション）▽インディアンモーターサイクル（FTRスポーツ）▽ドゥカティ（パニガーレV4S）▽トライアンフ（ロケット3GT）▽BMW（M1000R）▽ハーレーダビッドソン（X350）▽ベスパ（GTV300）▽ピアジオ（マイムーバー）▽モトグッツィ（V7ストーンスペシャルエディション）▽ロイヤルエンフィールド（コンチネンタルGT650）。

このほか、働く車両コーナーに展示の自衛隊偵察用バイクや、一部出展ブースにおいて華やかなカスタムバイクも披露された。

さらに会場では、優秀な自動車用品が選定・表彰された用品大賞コーナーも話題に。様々な受賞商品が並ぶ中、二輪車やライダー向けの製品も展示。

高輝度LEDなど強力な発光ライトを採用し、簡易に取り付けられる停止表示灯「パープルセーバー」（エーモン工業）は、自動車用に加えて二輪車用も商品化され、安全・安心サポート部門賞を受賞した。また、首に掛けて使用する画期的なウエアラブルレコーダーのFITT360PBα（ミツバサンコーワ）は、ツーリングやスポーツなどで便利な新スタイルのアクションカメラとしてアイデア商品部門賞を受賞している。

名古屋、福岡、札幌も

なお、モビリティショーは東京、大阪以外でも開催された。

「名古屋モビリティショー2023」（主催＝中部経済新聞社、TOKAI RADIO、中日新聞社、中日スポーツ、東海テレビ放送）は23年11月23日から26日までの4日間にわたり、名古屋市内にあるポートメッセなごやで開かれ、会期中、16万3090人が来場。「福岡モビリティショー」（主催＝福岡モビリティショー実行委員会）は23年12月22日から25日までの4日間にわたり、福岡市内にあるマリンメッセ福岡で行われ、同12万7349人が来場。「札幌モビリティショー2024」（主催＝札幌モビリティショー2024実行委員会）は今年1月19日から21日までの3日間、札幌市内にある札幌ドームで開催され、同7万3290人が来場した。

ショーを盛大に開く。

当日はAJ富山の組合員店舗などから各店推しの取り扱いモデルなどを出展。二輪車の楽しさや面白さを多くの来場者にアピールする。

また、今回はマットモーターサイクルズやイタルジェットなど初出展ブランドに加え、BRPやウラルなど三輪バイクも出品され、出展規模は前回よりスケールアップ。

さらに会場では最新タイヤ相談コーナーも設置。二輪初心者からベテランライダーまで楽しめるショー運営を図るという。